

福島県の被害状況

地震・津波被害

浜通りを中心に甚大な被害【死者3,985人】 内陸部も倒壊家屋多数

◆福島県内の被害状況

【平成29年7月31日現在】

【人的被害】

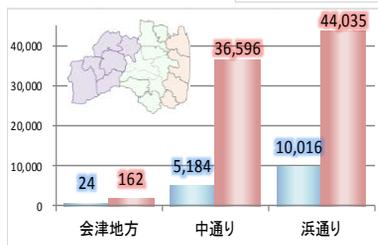
死者:3,985人
(うち、震災関連死※2,157人)
行方不明者:3人

※震災関連死とは地震などの直接的な被害によるものではなく、その後の避難生活での体調悪化や過労など間接的な原因で死亡すること。

【家屋被害の状況】

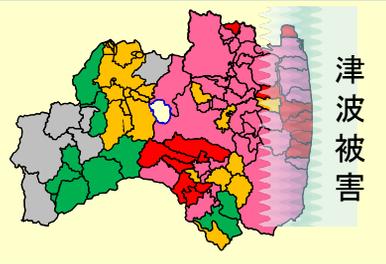
全壊	15,224棟
半壊	80,793棟

<県内3地方内訳>



津波に襲われる四倉湾

◆県内各地の震度



津波被害

◆災害廃棄物の処理状況

【平成29年3月末現在】 (単位:千トン)

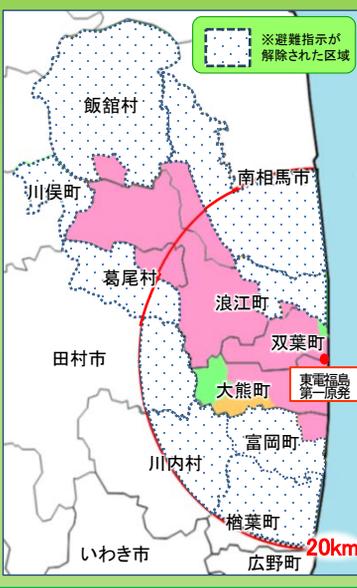
方部	発生見込量	仮置場搬入量	処理・処分量
浜通り	2,944	3,161	2,734 (92.9%)
中通り	1,056	1,059	1,056 (100.1%)
会津	19	19	19 (100.0%)
合計	4,019	4,239 (105.5%)	3,809 (94.8%)

【出典】福島県一般廃棄物課調べ

避難等の状況

平成29年7月現在の避難者数57,538人【県内21,864人 / 県外35,661人】

◆避難指示区域MAP

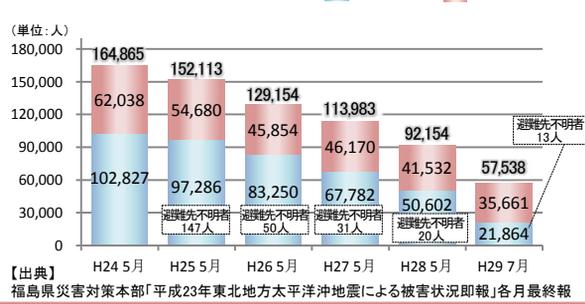


【避難指示区域解除状況】

年月日	市町村	解除状況
2014年	4月1日 田田市 都路地区	避難指示解除準備区域解除
	10月1日 川内村	避難指示解除準備区域解除、居住制限区域を避難指示解除準備区域に再編
2015年	9月5日 楡葉町	避難指示解除準備区域解除
	6月12日 葛尾村	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
2016年	6月14日 川内村	避難指示解除準備区域解除
	7月12日 南相馬市 川俣町	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
2017年	3月31日 浪江町 飯館村	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
	4月1日 富岡町	避難指示解除準備区域解除

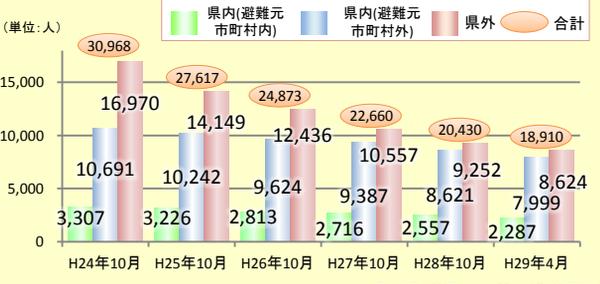
帰還困難区域	年間積算線量20mSv超 立ち入り原則禁止 宿泊禁止
居住制限区域	年間積算線量20~50mSv 立ち入り可、一部事業活動可 宿泊原則禁止
避難指示解除準備区域	年間積算線量20mSv以下 立ち入り可、事業活動可 宿泊原則禁止

◆避難者の推移



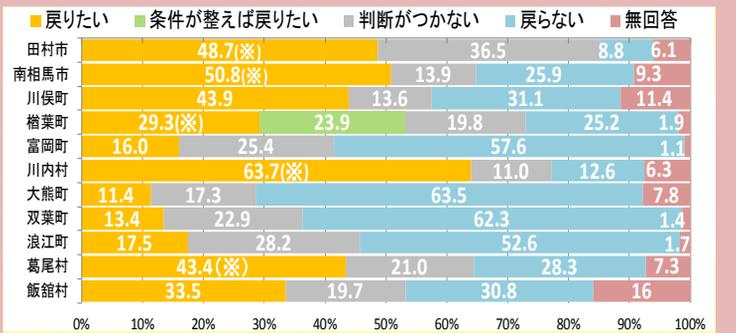
【出典】福島県災害対策本部「平成23年東北地方太平洋沖地震による被害状況月報」各月最終報

◆避難者のうち18歳未満のこどもの内訳(避難先別)



【出典】福島県子ども・青少年政策課調べ

◆復興庁・県・市町村による住民帰還意向調査結果



【調査年度】H28年度(南相馬市、川俣町、楡葉町、富岡町、川内村、双葉町) H27年度(田田市、大熊町)(※)すでに戻られている方含む

◆福島県の人口の推移

	H23.3	H29.7	増減
世帯数 (単位:世帯)	721,535	745,851	増 24,316
人口 (単位:人)	2,024,401	1,884,646	減 139,755
男性	982,427	932,483	減 49,944
女性	1,041,974	952,163	減 89,811

【出典】福島県の推計人口(福島県現住人口調査月報)

福島県の主な取組状況

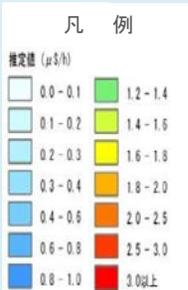
除染

県内の空間放射線量は低下傾向～住宅除染は着実に前進

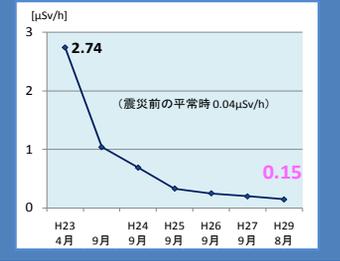
◆福島県内の空間線量の推移



【帰還困難区域で走行サーベイを実施】



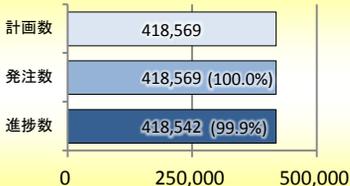
◆福島市の放射線量の推移



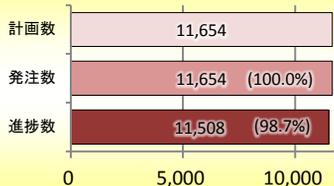
◆市町村除染地域における除染の実施状況

【H29.5月末時点】

【住宅（戸）】



【公共施設等（施設数）】



【参考】住宅除染の進捗数（累計）の推移



健康調査

将来にわたり県民の健康調査を実施【甲状腺検査はH25年度までに先行検査(1次検査)を終了】

◆甲状腺検査

【平成29年3月末時点】

震災時18歳以下等の子ども約38万人を対象→先行検査は約30万人が受診。平成26年度から本格検査を実施中

判定区分	判定内容	先行検査		本格検査		本格検査2回目	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
A判定	A1 結節や嚢のう胞なし	154,605	99.2	108,697	99.2	36,928	99.3
	A2 5.0mm以下結節や20.0mm以下の嚢のう胞	143,574		159,574		68,347	
B判定	5.1mm以上結節や20.1mm以下の嚢のう胞	2,293	0.8	2,226	0.8	691	0.7
C判定	直ちに二次検査を要するもの	1	0.0	0	0.0	0	0.0

※先行検査：平成23～25年度、本格検査：平成26年度～

◆内部被ばく検査

【平成23年6月～平成29年6月】

県実施分の累計検査人数
323,465人

預託実効線量※		(人)
1mSv未満		323,439
1mSv		14
2mSv		10
3mSv		2

※概ね一生涯に体内から受けると思われる内部被ばく量



住環境整備

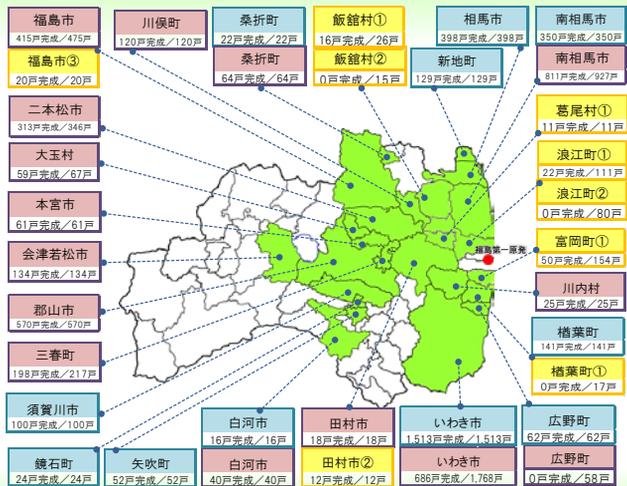
原発避難者向け復興公営住宅を4,890戸整備予定

◆復興公営住宅等の整備状況

【平成29年6月末現在】

区分	整備予定	対象者	完成戸数
地震・津波被災者向け	11市町村 2,807戸 (平成29年度完成予定)	地震・津波により住宅に被害を受けた住民	2,807戸 (100%)
原発避難者向け	県主体 4,890戸 (平成29年度完成予定)	避難指示区域の住民(解除区域を除く)	3,514戸(72%)
帰還者向け(①)	5町村 319戸	避難指示区域の住民(解除区域を含む)	99戸(31%)
帰還者・新規転入者向け(②)	3市町村 107戸	・避難指示区域の住民(解除区域を含む) ・自主避難者 ・新規転入者	12戸(11%)
子育て世帯向け(③)	1市 20戸	18歳未満の子育て世帯(自主避難者含む)	20戸(100%)

市町村別進捗内訳



帰還者向け復興公営住宅
(飯館村 大谷地団地)



原発避難者向け復興公営住宅
(川俣町 壁沢団地)



インフラ復旧

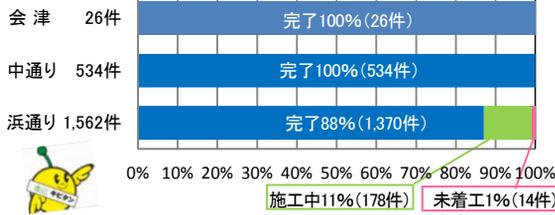
災害復旧工事は99%着手～全体の91%が完了

◆公共土木施設等災害復旧工事の進捗

【平成29年6月30日現在】

公共土木施設等 災害復旧工事箇所	査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数		完了見通し ※帰還困難 区域を除く
		着工率 (%)	完了率 (%)			
計	2,122	2,108	99%	1,930	91%	
河川・砂防	272	271	99%	248	91%	H31年度
海岸	157	156	99%	109	69%	H31年度
道路・橋梁	798	795	99%	775	97%	H29年度
港湾	331	331	100%	321	97%	H29年度
漁港	467	458	98%	380	81%	H29年度
下水	3	3	100%	3	100%	完了
公園・都市施設	5	5	100%	5	100%	完了
公営住宅	89	89	100%	89	100%	完了

被災した公共土木施設の99%で復旧工事に着手しており、全体の91%が完了しています。
今後も津波被災地を中心に、復旧工事の早期完了と道路インフラ等の充実強化を図り、安全安心の確保に努めていきます。



◆避難指示区域内の進捗状況

避難指示解除準備区域及び居住制限区域は、既に災害査定が終了しています。帰還困難区域では、国が行う除染などと調整を図りながら進めていく予定です。

査定決定数 (箇所数)	着工 件数	着工率	完了 件数	完了率
340	326	96%	228	67%

◆災害復旧工事の様子

県道いわき石川線(才鉄工区)



浅見川防災緑地整備



産業振興

企業立地補助金による支援等で工場の新増設が増加

◆企業立地の状況

【平成28年9月末現在】

ふくしま産業復興企業立地補助金471社を指定



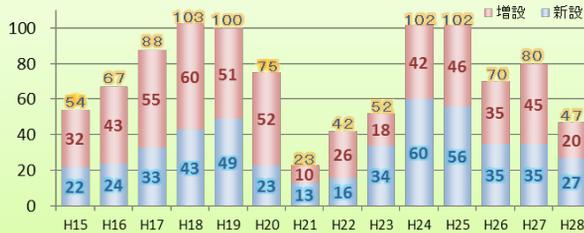
<指定を受けた主な業種>

- ・輸送用機械関連
- ・半導体関連
- ・医療福祉機器関連
- ・再エネ関連 等

5,923人の
雇用創出見込み

◆福島県内の工場[敷地面積1,000㎡以上]新・増設状況

【県工業開発条例に基づく設置届出件数】

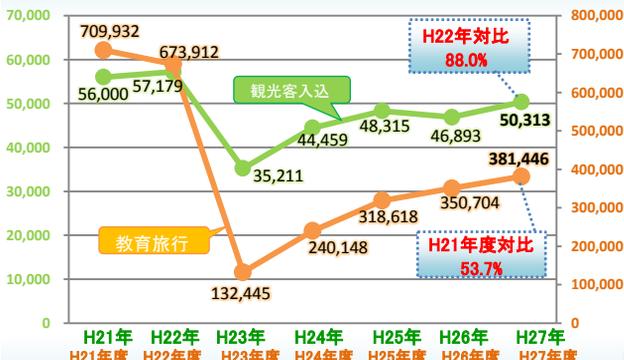


【出典】福島県商工労働部調べ

観光再生

2020年東京オリンピック・パラリンピック関連事業を積極的に取組み～復興を世界に発信

◆福島県観光客入込と教育旅行の状況



【出典】福島県観光交流局・福島県観光物産交流協会

◆観光客中心の宿泊施設に
おける美宿泊者数(人泊)推移

(H22年同月と比較)

【出典】観光庁 宿泊旅行統計調査



2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて 各種競技日本代表合宿続々福島県で実施!

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、各種競技の日本代表の国内合宿が県内で続々と開催されています。今後も引き続き日本代表、海外代表チームの合宿の誘致を実現していきます。

- 1 ウィルチェアラグビー競技日本代表合宿
平成29年4月3日(月)～9日(日)【あづま総合体育館】
- 2 車椅子バスケットボール女子日本代表合宿
平成29年5月6日(土)～14日(日)【あづま総合体育館】
- 3 ソフトボール女子日本代表GEM4(U23)
第1次国内強化合宿
平成29年6月12日(月)～16日(金)
【福島市十六沼運動公園スポーツ広場】

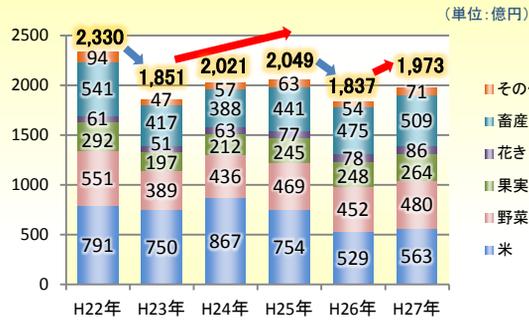


全国新酒鑑評会5年連続日本一

平成28酒造年度全国新酒鑑評会の審査結果が発表され、県内蔵元からは45銘柄(全国から860銘柄)が出品され、30銘柄が入賞、うち22銘柄が金賞に選ばれ、5年連続で金賞受賞数全国1位となり、通算7度目の日本一に輝きました。

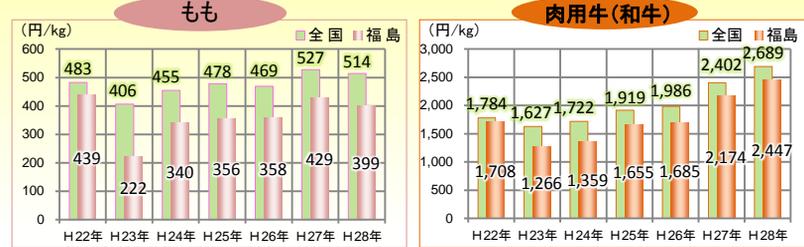


◆本県の農業産出額等の推移



※ 項目毎の四捨五入により年計と年の各項目の総和は一致しない。
 ※ 米について、H24年以降、作付面積、収穫量とも増加傾向にあるものの、H26年～H27年は全国的に米価が大きく下落し、本県の米の産出額も大幅に減少した。
 【出典】農林水産省生産農業所得統計、生産林業所得統計報告書、漁業産出額より作成

◆福島県を代表する農畜産物の価格推移



◆農地の除染



◆野菜・果物、畜産物等検査の結果

種別	検査件数	基準値超過数	超過数割合
野菜・果実	3,793件	0件	0.00%
畜産物	4,384件	0件	0.00%
栽培山菜・きのこ	1,049件	0件	0.00%
海産魚介類	8,766件	0件	0.00%
内水養殖魚	118件	0件	0.00%
野生山菜・野生きのこ	783件	2件	0.26%
河川・湖沼の魚類	621件	4件	0.64%

◆米の全量全袋検査の結果

検査点数: 約1,024万件 | 基準値超過数: 0件 | 超過数割合: 0.00%

検査済みの県産米の玄米袋や小分けした精米袋に検査済みラベルを貼付しています。検査結果はホームページで確認できます。

拠点整備

復興の推進力となる研究開発～産業創出拠点を各地に整備

産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所
 郡山市
 技術開発や人材育成を推進
 H28. 9.12 開所

ふくしま国際医療科学センター
 【医療・産業・トランスレーショナルリサーチセンター】
 福島市
 H28. 11.7 開所

ふくしま医療機器開発支援センター
 郡山市
 H28. 11.7 開所

浜地域農業再生研究センター
 南相馬市
 H28. 3.25 開所

会津大学復興支援センター【先端ICTラボ】
 会津若松市
 H27. 10.1 開所

環境放射線センター
 南相馬市
 原子力発電所周辺のモニタリング
 常時監視

浮体式洋上風力発電 実証研究事業 稼働中
 福島県沖
 提供: 福島洋上風力コンソーシアム
 世界最大級「ふくしま新風」(全高189m)運転開始
 浮体式洋上風力発電システムの安全性、信頼性、経済性を検証。研究開発等の拠点を形成し、風力発電関連産業の集積を目指す。
 [第一期] 2メガワット風車 平成25年11月11日より運転開始
 [第二期] ①7メガワット風車 平成27年12月26日より運転開始
 ②5メガワット風車 平成28年7月20日設置、試運転中

環境創造センターと附属施設
 交流棟: コミュン福島【環境創造シアター】
 360度全方位に映し出される映像を体験できます。

環境創造センター
 環境の回復に向け、モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流を行う総合的な拠点施設。

猪苗代水環境センター 猪苗代町
 猪苗代湖・裏磐梯湖沼群の調査研究、環境学習・普及啓発等

野生生物共生センター 大玉村
 野生生物の調査研究・環境学習・普及啓発等